

平成22年発生 丸谷川河川災害関連事業（宮崎県）



被災後



完成

置石 瀬 淵 ワンド

多自然川づくりに配慮

多自然川づくり配慮の河川災害復旧

平成22年7月の被害状況

平成22年7月2日～4日の梅雨前線豪雨による異常出水により、現況流下能力を上回る被災流量及び河状不良等に伴い溢水、氾濫を生じ、護岸背後において氾濫流の流下による侵食、市道橋の倒壊等の施設被害が発生しました。（浸水戸数10戸）

災害復旧する際に...



着手前

良好な淵が形成

置石、淵やワンドを施工
自生植物復元

施工直後

多様な水辺空間確保を目指した



淵、瀬、エコトーン形成

現在

河道が狭く、蛇行していた河川が氾濫



河道能力向上を踏まえた災害復旧（L＝5.4km）

- ・橋梁架替え（3橋）
- ・堰の可動化
- ・河道掘削（20万m³）

河川アドバイザー助言を含めた多自然川づくりに配慮

- ・巨石による水制工設置
- ・ネコヤナギ、カヤの植生
- ・魚類配慮のワンド形成
- ・水際に大小の変化形成



災害復旧を契機として
川を守り、育てていく
地域活動を目指す